



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 CKD株式会社

上場取引所 東・名

コード番号 6407 URL <https://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝 (TEL) 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	30,783	20.8	2,781	2.7	2,838	3.4	2,156	8.1
30年3月期第1四半期	25,481	22.6	2,707	64.3	2,744	77.5	1,994	82.4

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,483百万円(△39.6%) 30年3月期第1四半期 2,455百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	34.83	—
30年3月期第1四半期	32.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	134,019	80,302	59.8
30年3月期	130,887	80,058	61.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 80,180百万円 30年3月期 79,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	60,000	10.6	6,900	18.0	6,900	17.0	4,800	12.4	77.53
通期	122,000	5.4	14,000	12.2	14,000	12.3	9,800	7.2	158.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	68,909,449株	30年3月期	68,909,449株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	6,994,011株	30年3月期	6,993,934株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	61,915,486株	30年3月期1Q	61,916,681株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. 補足情報	7
〔生産、受注及び販売の状況〕	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善から堅調に推移した個人消費が牽引役となり、緩やかに回復いたしました。企業収益は、好調な内需に加えて輸出の拡大により改善が進み、生産能力増強や合理化・省力化に向けた設備投資が増加いたしました。

また、海外経済は、米国では良好な雇用情勢が持続したことで、個人消費は堅調に推移し、企業の生産活動は拡大が続きました。欧州では金融緩和策などから回復に向かいました。中国では政府の抑制策によりインフラ投資の伸びは鈍化したものの、個人消費が下支えし底堅く推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高30,783百万円（前年同四半期比20.8%増）、営業利益2,781百万円（前年同四半期比2.7%増）、経常利益2,838百万円（前年同四半期比3.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,156百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

自動包装システムでは、薬品及び食品向けの売上が増加いたしました。

産業機械では、三次元はんだ印刷検査機、リチウムイオン電池製造システムともに売上が増加いたしました。

その結果、売上高は2,468百万円（前年同四半期比17.7%増）、国内の受注価格が厳しくなっていることに加え、将来を見据えて海外物件を戦略的に受注した影響によりセグメント損失は127百万円（前年同四半期は98百万円のセグメント損失）となりました。

② 機器部門

国内市場では、メモリーへの投資が続く半導体製造装置向け、内外需ともに好調な工作機械向けの売上が増加いたしました。

海外市場では、半導体の設備投資が堅調な韓国や台湾、生産設備の自動化・高度化を背景に設備投資が続く中国を中心に売上が増加いたしました。

その結果、売上高は28,314百万円（前年同四半期比21.1%増）、売上高増加に対応する生産能力を増強させるための費用増加によりセグメント利益は4,210百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,131百万円増加の134,019百万円となりました。これは主に、現金及び預金並びに投資有価証券が減少したものの、たな卸資産及び有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,887百万円増加の53,716百万円となりました。これは主に、未払法人税等、長期借入金及び繰延税金負債が減少したものの、仕入債務及び賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ244百万円増加の80,302百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ1.3ポイント減少の59.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では第2四半期連結累計期間及び通期の予想につきましては、平成30年5月14日に発表いたしました業績予想からの変更はございません。

ただし、米国に端を発した関税問題が及ぼす影響、地政学的リスクや為替変動が及ぼす影響に注視していく必要があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,245	11,212
受取手形及び売掛金	26,721	25,963
電子記録債権	5,215	5,673
営業未収入金	249	289
商品及び製品	8,840	10,641
仕掛品	4,782	5,060
原材料及び貯蔵品	21,094	24,677
その他	1,687	1,738
貸倒引当金	△109	△117
流動資産合計	83,726	85,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,350	13,106
その他（純額）	19,848	22,680
有形固定資産合計	33,199	35,787
無形固定資産	2,612	2,548
投資その他の資産	11,349	10,544
固定資産合計	47,160	48,880
資産合計	130,887	134,019
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,021	21,141
電子記録債務	2,429	2,971
短期借入金	6,591	6,660
1年内償還予定の社債	55	55
未払法人税等	2,261	1,312
賞与引当金	414	1,712
その他の引当金	491	492
その他	11,809	12,426
流動負債合計	43,074	46,772
固定負債		
社債	191	184
長期借入金	4,845	4,515
その他の引当金	161	110
退職給付に係る負債	390	394
その他	2,165	1,738
固定負債合計	7,754	6,944
負債合計	50,829	53,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,383	12,383
利益剰余金	56,812	57,730
自己株式	△4,908	△4,908
株主資本合計	75,304	76,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,857	3,335
為替換算調整勘定	1,686	1,457
退職給付に係る調整累計額	△899	△834
その他の包括利益累計額合計	4,644	3,958
非支配株主持分	109	122
純資産合計	80,058	80,302
負債純資産合計	130,887	134,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	25,481	30,783
売上原価	17,041	21,756
売上総利益	8,440	9,026
販売費及び一般管理費	5,732	6,245
営業利益	2,707	2,781
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	69	77
その他	105	134
営業外収益合計	179	216
営業外費用		
支払利息	18	15
売上割引	37	43
持分法による投資損失	46	0
デリバティブ評価損	10	34
為替差損	15	44
その他	13	20
営業外費用合計	142	159
経常利益	2,744	2,838
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	3	20
負ののれん発生益	149	—
補助金収入	—	100
特別利益合計	153	123
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	14	9
固定資産圧縮損	—	100
特別損失合計	15	110
税金等調整前四半期純利益	2,882	2,851
法人税、住民税及び事業税	1,077	1,230
法人税等調整額	△201	△550
法人税等合計	875	680
四半期純利益	2,007	2,171
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,994	2,156

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	2,007	2,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315	△522
為替換算調整勘定	88	△231
退職給付に係る調整額	42	65
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	447	△688
四半期包括利益	2,455	1,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,443	1,469
非支配株主に係る四半期包括利益	12	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,098	23,383	25,481	—	25,481
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	28	28	△28	—
計	2,098	23,411	25,509	△28	25,481
セグメント利益又は損失(△)	△98	3,893	3,794	△1,087	2,707

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,087百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,094百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結会計期間より、日機電装株式会社(平成29年6月1日付でCKD日機電装株式会社に商号変更しております。)の株式を取得し連結子会社としたことにより、「機器部門」セグメントにおいて、負ののれん発生益149百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,468	28,314	30,783	—	30,783
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	19	19	△19	—
計	2,468	28,333	30,802	△19	30,783
セグメント利益又は損失(△)	△127	4,210	4,082	△1,301	2,781

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,301百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,309百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

[生産、受注及び販売の状況]

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	3,175	△41.9
機器部門	29,450	+20.5
合計	32,626	+9.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 金額は、販売価格によっております。
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	4,165	+36.9	12,363	+7.3

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	2,468	+17.7
機器部門	28,314	+21.1
合計	30,783	+20.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。